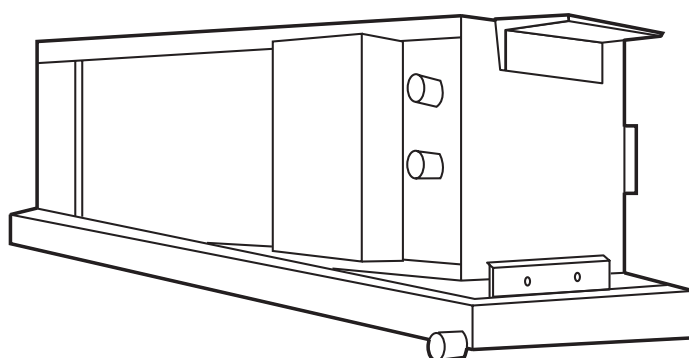


MBシリーズ 据付工事説明書

対象機種

MB-P36, P50, P100, P170WT

MB-P36, P50, P100, P170MT



- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付の前に本説明書を必ずお読みください。

もくじ

※ 安全のために必ず守ること	2
1. 付属部品	4
2. ユニットの据付	4
3. 水配管	5
4. 電気配線	6
5. ドレン配管	10
6. ダクト工事	10
7. 試運転の前に	10
8. 電気回路図	11
9. 異常コード/スイッチ設定	13

【据付される方へのお願い】

本ユニットの梱包に保証書が入っていますので、お客様にお渡しください。

据付工事説明書内で、安全のために必ず守っていただく項目を **⚠ 警告** **⚠ 注意** の形で記載しました。安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。



警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付けは、質量に十分に耐える所に確実に行ってください。
強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

台風のような強風、地震に備え、所定の据付工事を行ってください。
据付工事に不備があると、転倒などによる事故の原因になります。

暖房用加熱器などの別売品は、必ず、当社指定の製品を使用してください。
また、取付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

改造は絶対にしないでください。また、修理は、お買上げの販売店にご相談ください。
修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。
冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。
冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行ってください。
据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

据付けや移設の場合は、冷凍サイクル内に指定冷媒（R410A）以外のものを混入させないでください。
空気などを混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。

小部屋へ据付ける場合は、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。
限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付けてください。万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
据付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付けをする前に



注意

可燃性ガスの漏れるおそれがある場所への設置は行わないでください。
万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になります。

特殊環境には、使用しないでください。
油・蒸気の多いところや、酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等を頻繁に使用すると、性能を著しく低下させたり、感電、故障、発煙、発火等の原因になります。
有機溶剤、腐食ガス（アンモニア、硫黄化合物、酸等）の雰囲気では、ガス漏れ、水漏れの原因になります。

病院、通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズによる備えを充分に行なって施工してください。
インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になります。

食品・動植物・精密機器・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。
食品の品質低下等の原因になります。

濡れて困るものの上にユニットを据付けしないでください。
湿度が80%を超える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合もあります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンが垂れますので、必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。

据付け（移設）・電気工事をする前に

⚠ 注意

アースを行ってください。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

電源配線は張力がかからないように配線工事をしてください。

断線したり、発熱・火災の原因になります。

正しい容量のブレーカーやヒューズ以外は使用しないでください。

大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因になります。

製品の運搬には、充分注意してください。

20kg以上の製品の運搬は、1人でしないでください。

熱交換器のフィン表面で切傷する場合がありますので、素手で触れないように注意してください。

包装用のポリ袋で子供が遊ばないように、破いてから破棄してください。窒息事故等の原因になります。

吊りボルトによる搬入を行う場合は、確実に4点支持で実施してください。3点支持等で運搬・吊下げしますと不安定となり、落下の原因になります。

長期使用で据付台等が傷んでいないか注意してください。

傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、けが等の原因になります。

エアコンを水洗いしないでください。

感電の原因になります。

電源には、必ず漏電ブレーカーを取付けてください。

漏電ブレーカーが取付けられていないと感電の原因になります。

電源配線は、電流容量、規格品の配線にて工事をしてください。

漏電や発熱・火災の原因になります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないよう保温してください。

配管工事に不備があると、水漏れし、家財等を濡らす原因になります。

ドレン配管の断熱は結露しないように確実に行ってください。

不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して露タレ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。

梱包材の処理は確実に行ってください。

梱包材には「クギ」等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますとさし傷などのけがをするおそれがあります。

試運転をする前に

⚠ 注意

運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。

故障の原因になります。
シーズン中は電源を切らないでください。

パネルやガードを外した状態で運転をしないでください。

機器の回転物、高温部、高電圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるけがの原因になります。

運転中の冷媒配管に素手で触れないでください。

運転中の冷媒配管は流れる冷媒の状態により低温と高温になります。素手で触れると凍傷や火傷になるおそれがあります。

吸込口の近くにものを置かないでください。

能力が低下、または運転が停止することがあります。

濡れた手でスイッチを操作しないでください。

感電の原因になります。

エアフィルターを外したまま運転しないでください。

内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。

運転停止後、すぐに電源を切らないでください。

必ず5分以上待ってください。
水漏れや故障の原因になります。

1. 付属部品 (MB-P36,P50WT/MTのみ)

1.1 付属部品の確認

- ユニット側面に表1の付属部品が揃っていることを確認ください。
- ※MB-P100,P170WT/MTの場合、付属部品はありません。

(表1)

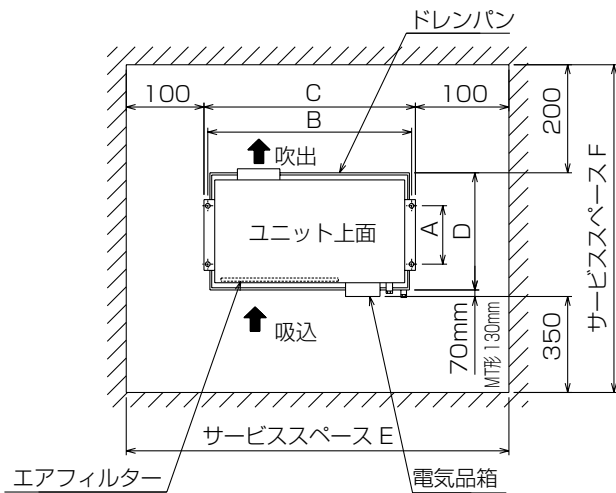
	品名	個数	備考
①	取付足	2	[ユニット固定用]
②	防振ゴム	4	[ユニット固定用]
③	ワッシャー	4	[ユニット固定用]
④	ボルト	4	M8×20 [ユニット固定用]
⑤	ザガネ	4	[ユニット固定用]
⑥	SUSネジ	4	4×16トラスネジ [ドレンパン固定用]
⑦	SUSワッシャー	4	[ドレンパン固定用]

2. ユニットの据付

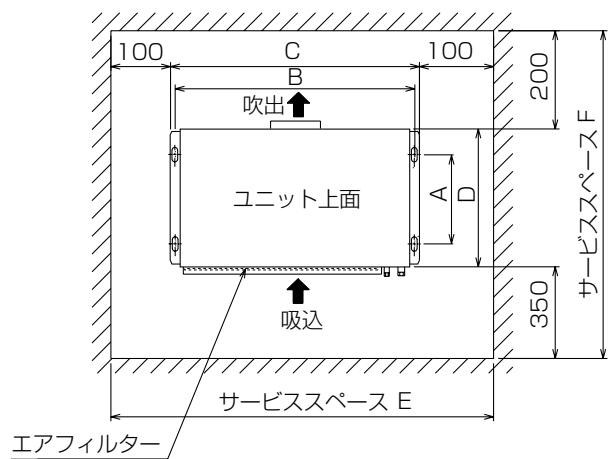
- ユニットの据付けは、保守サービスが容易にできるように図1、2に示すサービススペースを本体の周囲に取ってください。
- 吊部の強度はユニット質量に充分耐えられるように設定してください。
- 吊りボルトおよび吊りボルトピッチを表2にて確認してください。
- ユニットの真下には必ずユニットを降ろすことができる点検口を設けてください。
(ユニットの交換および冷媒回路サービス時等に必要となります。)
- ユニットを取付ける天井裏の高さは最低600mm以上 (MB-P100,P170WT/MTの場合700mm) とし、ユニット上下のスペースをほぼ均等にしてください。

(表2)

形名	吊りボルト	吊りボルトピッチ		本体寸法		サービススペース		ユニット質量	ユニット高さ
		A	B	C	D	E	F		
MB-P36WT	φ10	200	878	918	420	1120	1040	52	417
MB-P36MT							1100		
MB-P50WT	φ10	200	878	918	420	1120	1040	56	417
MB-P50MT							1100		
MB-P100WT	φ16	400	1260	1200	610	1400	1160	134	550
MB-P100MT							1160	136	
MB-P170WT	φ16	400	1260	1200	610	1400	1160	155	570
MB-P170MT							1160	157	



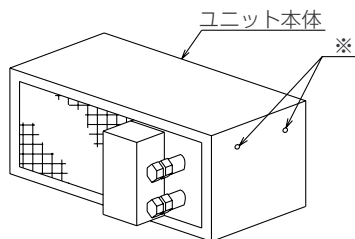
(図1) MB-P36,P50WT/MTの場合



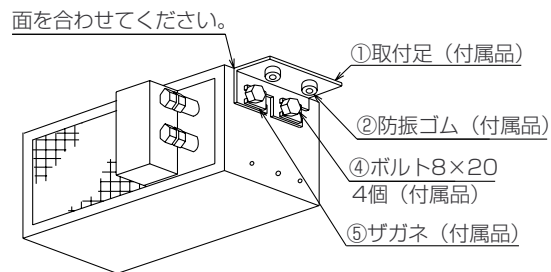
(図2) MB-P100,P170WT/MTの場合

MB-P36,P50WT/MTの場合

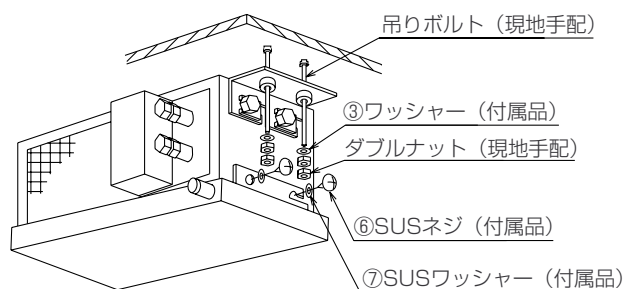
- 本体上部のドレンパンを取外します。
- 付属の取付足をユニット（図3 ※印穴）に取付けます。（図4）
- 付属の防振ゴムを取付足に取付けます。（図4）
- ユニット本体を吊りボルトに合せて持ち上げワッシャー・ダブルナットで固定してください。（図5）
- ドレンパンをSUSネジ、ワッシャーにて固定してください。（図5）



(図3)



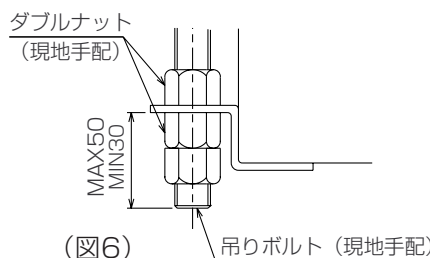
(図4)



(図5)

MB-P100,P170WT/MTの場合

- ユニートを吊りボルトに合せて吊ります。
- 次に、ダブルナットで固定してください。（図6）



(図6)

3. 水配管

- ストップバルブと凝縮器洗浄のための三方接手を、冷却水出入口配管に取付けてください。（図7）
- 水配管は必ず防露工事（断熱工事）を施してください。

水処理と水質管理

冷却水の水質が悪いと、水側熱交換器にスケールが付着し、熱交換能力の減少や水側熱交換器を腐食させるおそれがあります。冷却水システムの施工に当たっては水質管理ならびに水処理に関して十分ご注意ください。

● 配管内の不純物除去

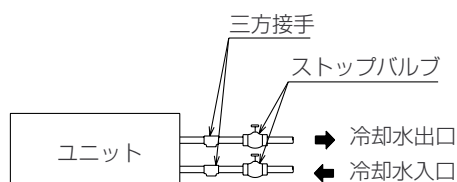
配管施工中に、溶接の破片・シール材の残り・錆などの不純物が配管の中へ混入しないように十分注意しても、不純物の混入を防ぐことは困難なことです。ユニットへ通水する前にフラッシングを行ってください。

● 水質処理

冷却水の水質基準は、日本冷凍空調工業会標準規格JRA-GL-02-1994に定められた水質基準値以下になるようにオーバーフローによるブリードオフ式や定期的な水質検査およびインヒビタ投入などにより、濃度や腐食の抑制を行ってください。

冷却水・ドレン管サイズ

形名	ドレン管	水配管	
		入口側	出口側
MB-P36WT/MT	3/4Bオス	3/4Bオス	3/4Bオス
MB-P50WT/MT	3/4Bオス	3/4Bオス	3/4Bオス
MB-P100WT/MT	1Bオス	1・1/4Bオス	1・1/4Bオス
MB-P170WT/MT	1Bオス	1・1/4Bオス	1・1/4Bオス



(図7)

4. 電気配線

4-1 配線方法

配線は必ず電線管を通し、電源穴に張力がかからないように固定してください。電源は専用の分岐回路よりとってください。

4-2 線の太さ・開閉器容量

ユニットの配線、アース線の太さは表3によりそれぞれ選定してください。なお、アース線は必ず施工してください。

(表3)

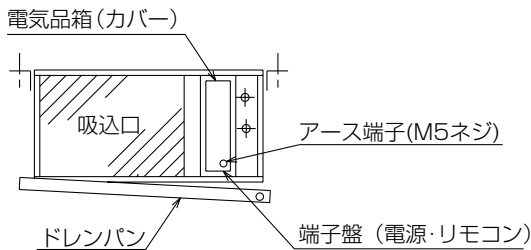
項目			形名	MB-P36WT MB-P36MT	MB-P50WT MB-P50MT	MB-P100WT MB-P100MT	MB-P170WT MB-P170MT
送風機・共通	電源配線太さ		mm	1.6<16m>	1.6<16m>	1.6	2.6
	刃形開閉器の場合	ヒューズ容量	A	15	20	30	50
		開閉器容量	A	30	30	30	60
	漏電遮断器の場合	形式	-	NC30-C<15A>	NC30-C<20A>	NV30-C<30A>	NV50-C<50A>
定格感度		-	30mA 0.1s以下	30mA 0.1s以下	30mA 0.1s以下	100mA 0.1s以下	
コントローラー連絡線太さ			mm	WT機：M1ケーブル<1.2mm以上>または1.6			
アース線太さ			mm	MT機：0.3~1.25mm ² (2芯)：VCTF,VCTFK, CVV, CVS, VVR, VVF, VCT			
アース線太さ			mm	1.6		2.0	2.6

- 注1. 配線要領は内線規程に従ってください。
 2. 配線太さは、金属管配線・合成樹脂管配線（挿入電線数3本以下）の場合の最小値を示します。
 3. 配線太さ欄の〈 〉内は、電圧降下2%時の電線最大こう長を示しています。〈 〉内数値よりこう長が長くなる場合は、1段太い配線を使用してください。
 4. ヒューズは、B種ヒューズを使用する場合を示します。
 5. MT機のリモコン線は、作業上、0.75mm²以下の線径を推奨します。

WT形

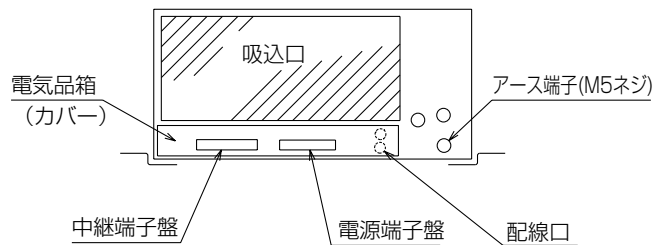
MB-P36,P50WTの場合

- 吸込口横にある電気品箱のカバーを外してください。(STネジ2本)



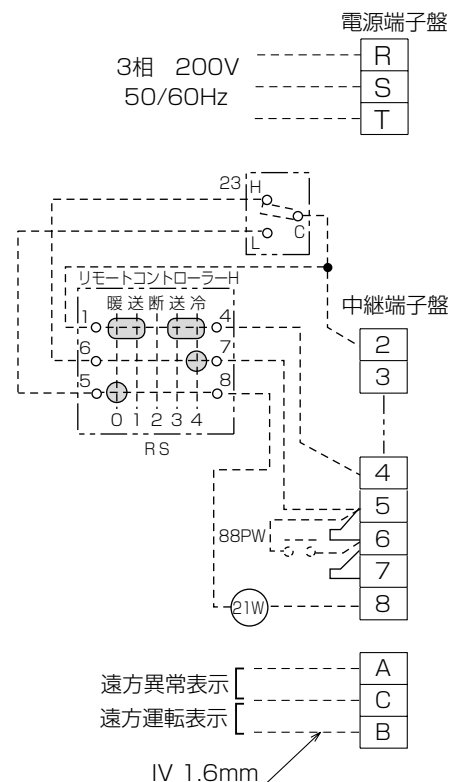
MB-P100,P170WTの場合

- 吸込口下にある電気品箱のカバーを外してください。(STネジ2本)



注) 各種配線は、水配管の結露水等が電気品箱内に浸入することがないように、必ずトラップを設けるなど対策してください。

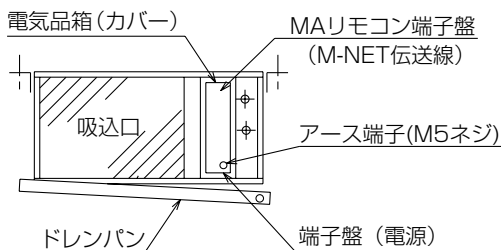
- ポンプインターロック《88PW》を取付ける時は⑤-⑥の渡り線を外してください。
- ロータリスイッチ《RS》およびM-NET接続しない時は②-④, ④-⑤の間に渡り線を取付けてください。
- 電磁弁《21W》は暖房時23で温水のON-OFF制御をする時取付けてください。
- ----- 破線は現地配線を示します。



MT形

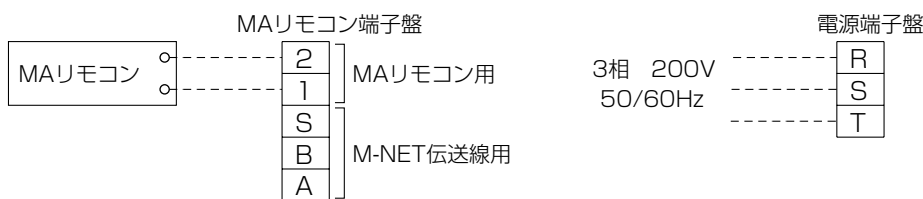
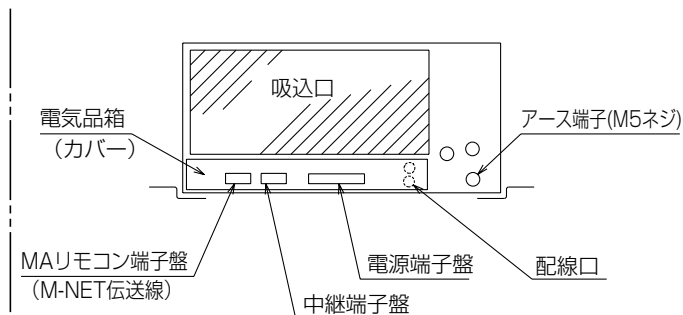
MB-P36,P50MTの場合

- 吸込口横にある電気品箱のカバーを外してください。
(STネジ3本)



MB-P100,P170MTの場合

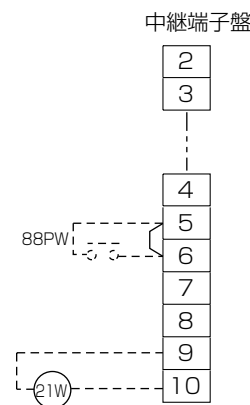
- 吸込口下にある電気品箱のカバーを外してください。
(STネジ2本)



※MAリモコン端子盤には200V電源を接続しないでください。(故障します)
また、制御配線(リモコン線)と電源配線は電気ノイズの影響を受けないように離してください。

- ポンプインターロック《88PW》を取付ける時は [5]-[6]の渡り線を外してください。
- 電磁弁《21W》は暖房時に温水のON-OFF制御のため、取付けてください。

※MT形の場合、MAリモコン(集中コントローラー(G-150AD))にユニットの運転(異常)状態が表示されますが、別途「運転(異常)」の信号を取出す場合は、遠方表示用アダプター(PAC-SA88HA)、またはM制御遠方表示キット(PAC-YU80HK)を利用し制御基板より取出してください。詳細は、各々の据付工事説明書を参照ください。



注) 各種配線は、水配管の結露水等が電気品箱内に浸入することがないように、必ずトラップを設けるなど対策してください。

システム構成

集中コントローラー(G-150AD)は、MBを50台まで接続可能です。
また、拡張コントローラー追加により最大150台まで接続可能です。

(G-150AD使用の際は、給電装置(PAC-SC51KU)が必要です。)

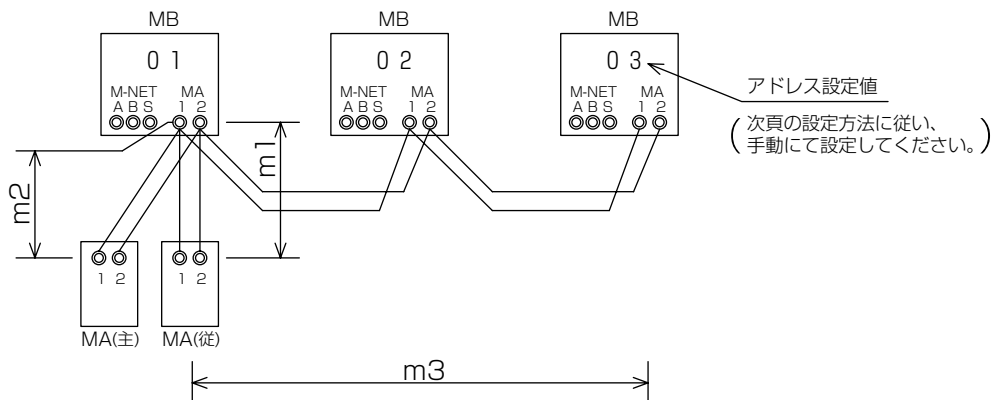
手元リモコンとして、MAリモコン(PAR-30MA/PAR-24MA)の接続が必要です。

2台まで接続可能です。(※MEリモコンは接続できません。)

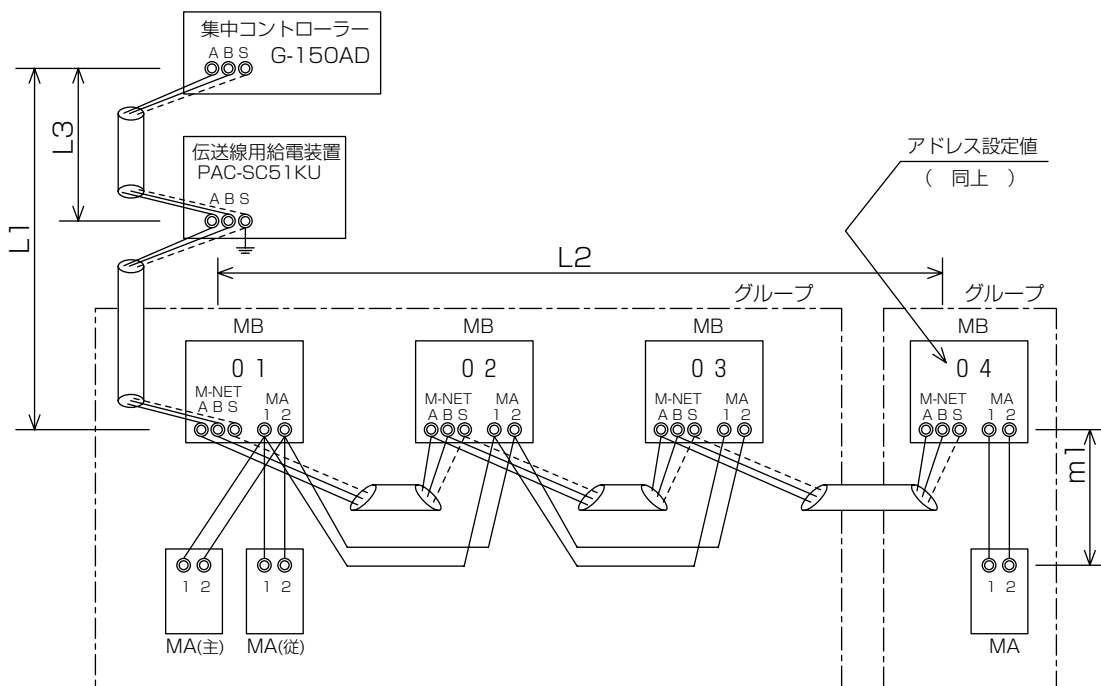
MAリモコンでは、MBを最大16台まで一括操作可能です。

制御線配線例

(1) MAリモコンのみ使用のシステム (PAR-30MA、PAR-24MA)



(2) 集中コントローラー(G-150AD) & MAリモコンのシステム



許容長

(a) MAリモコン配線

総延長 $m1 \leq 200\text{m}$ 、 $m1+m2+m3 \leq 200\text{m}$

(b) 集中管理用伝送線(M-NET伝送線)

最延長 $L1+L2 \leq 500\text{m}$ 、 $L3 \leq 200\text{m}$

配線方法とアドレス設定

必ずユニット本体の元電源を切った状態で作業してください。

(1) MAリモコンのみ使用のシステム

(a) 集中管理用伝送線(M-NET伝送線)

接続不要です。

※メンテナンスツールの使用には、集中管理用伝送線（M-NET伝送線）の接続、及び、給電装置の接続が必要になります。

(b) MAリモコン配線

ユニット本体のMAリモコン線用端子台の1,2端子を、それぞれMAリモコン(MA)の端子台に接続します。（無極性2線）

[2リモコン運転の場合]

2リモコンとする場合は、ユニット本体のMAリモコン線用端子台の1,2端子と2つのMAの端子台をそれぞれ接続します。

※一方のMAリモコンの主従切換スイッチを従リモコンに設定してください。

（設定方法は、MAリモコンの据付説明書をご覧ください。）

[グループ運転の場合]

MAリモコンの渡り配線でグループ設定を行います。1グループに設定可能なMBは、最大16台となります。

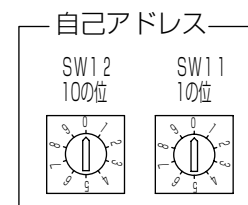
グループ運転する場合は、同一グループ内の全ユニットのMAリモコン線用端子台の1,2端子同士を接続し、一方のユニットのMAリモコン線用端子台の1,2端子とMAリモコンの端子を接続します。（無極性2線）

(c) スイッチ設定

以下の通り、アドレス設定が必要です。

アドレス設定は、制御箱内マイコンボード上のロータリースイッチ(SW11,SW12)でアドレスを設定します。

ユニットまたはコントローラー	アドレス 設定範囲	設定方法	工場 出荷時
MB	01~50	親機としたいMBに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定	00
		同一グループ内の親機アドレスに連番で設定[親機+1、+2、+3、・・・]	
MA リモコン	主リモコン	設定不要	主
	従リモコン	従リモコン	



(2) 集中コントローラー(G-150AD) & MAリモコンのシステム

(a) 集中管理用伝送線(M-NET伝送線) ※必ずシールド線をご使用ください。

集中コントローラーのA, B端子、伝送線用給電装置のA, B端子(伝送線用端子台)、ユニット本体のM-NET伝送線用端子台のA, B端子を渡り配線します。

[シールド線の処理]

シールド線のアースは、集中コントローラー、MBの伝送線用(M-NET)端子台のS端子を渡り配線します。

給電装置のS端子とアース端子(アース)を短絡します。

(b) MAリモコン配線

(1)-b と同様

[2リモコン運転の場合]

(1)-b と同様

[グループ運転の場合]

(1)-b と同様

※集中コントローラー(G-150AD)を併用するシステムでは、集中コントローラーとMAリモコンの渡り配線のグループ設定をあわせる必要があります。（設定方法は、G-150ADの取扱説明書・据付説明書をご覧ください。）

(c) スイッチ設定

(1)-c と同様

5. ドレン配管

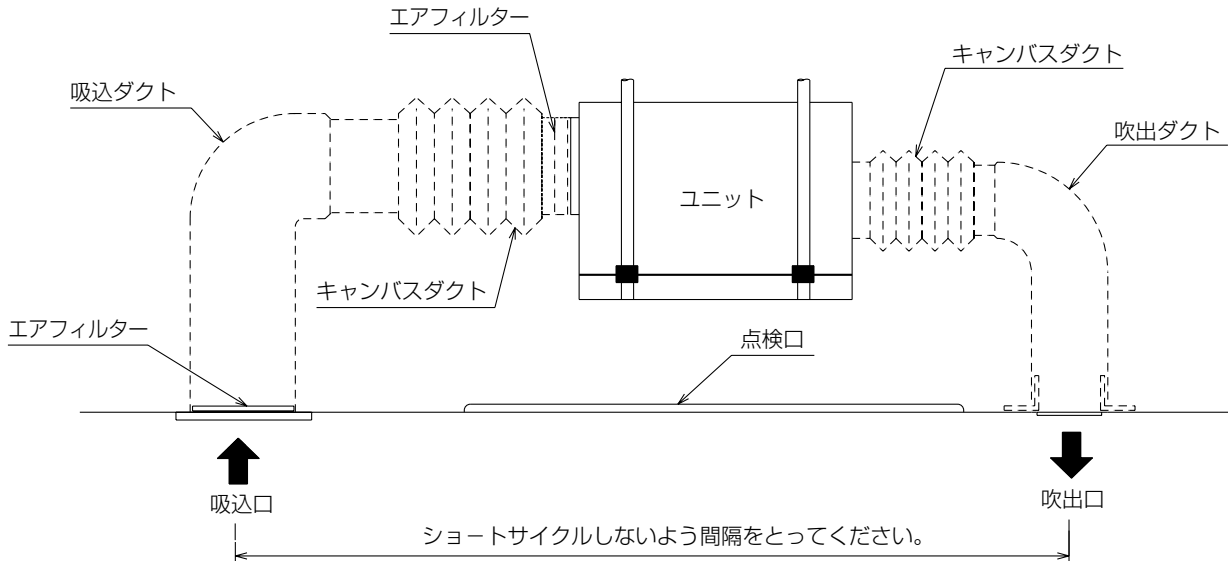
- ドレン配管は最小1/100の勾配で流れるように施工してください。
- ドレン配管には逆流および臭気防止の為、トラップを設けてください。また、トラップの上部には通気管を設けてください。
- ドレン配管は必ず防露工事（断熱工事）を施してください。

6. ダクト工事

- ダクト接続には、ユニットとダクトの間にサービス性を考慮し、キャンバスダクトを入れてください。
- ダクト部品には、不燃性材料を使用してください。
- 吹出ダクトには、十分な断熱を行ってください。
- 吸込ダクトを施工する場合は、エアフィルターを吸込口付近に設置してください。
- ダクトの抵抗（吸込、吹出口を含む）は表4の値になるように調整してください。（大きすぎると運転に支障をきたし、反対に小さすぎると騒音が大きくなります。）

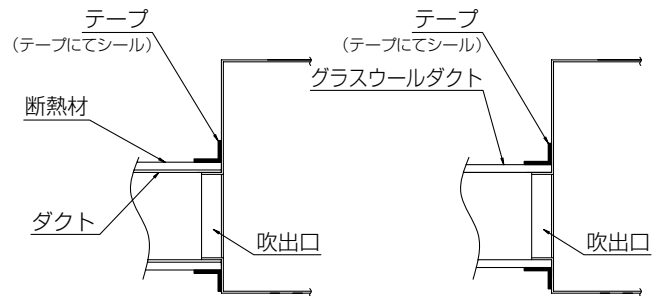
（表4）

形名	ダクト抵抗 (50/60Hz)
MB-P36WT/MT	30/30 Pa
MB-P50WT/MT	30/30 Pa
MB-P100WT/MT	80/120 Pa
MB-P170WT/MT	85/140 Pa



● ご注意

吹出口へのダクト接続の際、必ず吹出口の根本までダクトを差込み、ダクトに断熱工事を施してください。
また、ダクトと本体の継ぎ目は、必ずアルミテープ等でシールを施し、断熱材の端面から天井内の高温多湿な空気が進入することのないようにしてください。



7. 試運転の前に

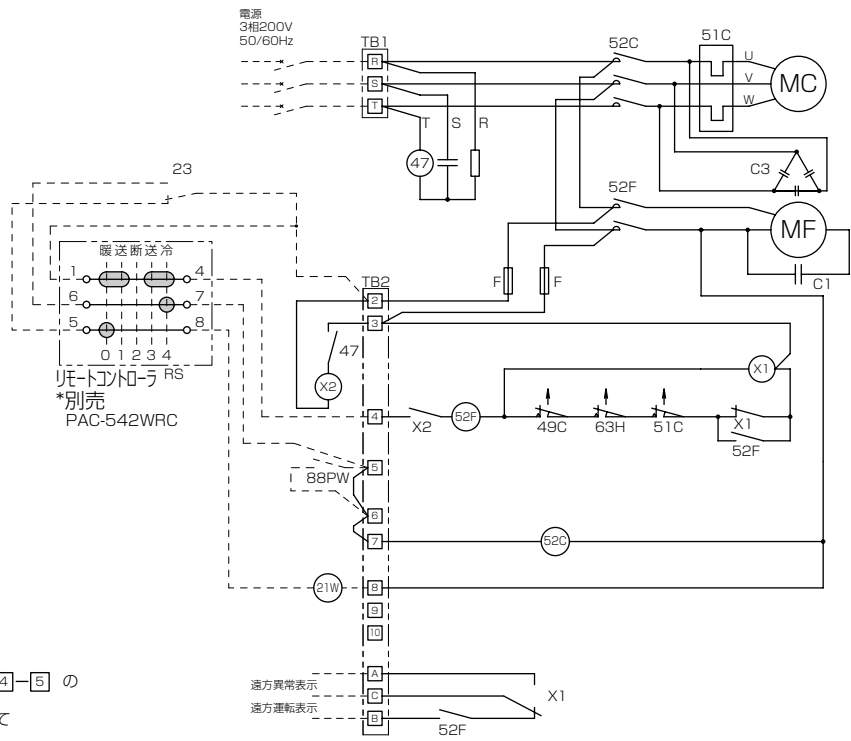
- 電源端子盤と接地面を500Vメガーで測定して1.0MΩ以上であることを確認してください。1.0MΩ以下の場合は運転しないでください。
- MB-P36, P50, P100, P170WT/MTの場合、電源配線を逆相に接続すると逆相防止器が作動し圧縮機が運転しませんから相を入れ替えてください。（MB-P36,P50,P100,P170WT/MTの場合は、液晶リモコンに逆相の異常が表示されます。）
- 付属の取扱説明書を読んで、試運転を実施してください。

8. 電気回路図

MB-P36WT,50WT 電気回路図

記号	名称
C1	コンデンサ<送風機運転>
C3	コンデンサ<進相>
F	ヒューズ<5A>
MC	圧縮機用電動機
MF	送風機用電動機
TB1,2	端子台
X1	補助継電器
X2	補助継電器
47	逆相防止器
49C	熱動温度開閉器<圧縮機>
51C	熱動過電流継電器<圧縮機>
52C	電磁接触器<圧縮機>
52F	電磁接触器<送風機>
63H	圧力開閉器<高圧>
<RS>	ロータリスイッチ
<<21W>>	電磁弁<暖房>
<<23>>	ルームサーモスタット
<<88PW>>	電磁接触器<ボ*ンインターロック>

記号欄の<<>>は現地手配部品、<>は別売部品

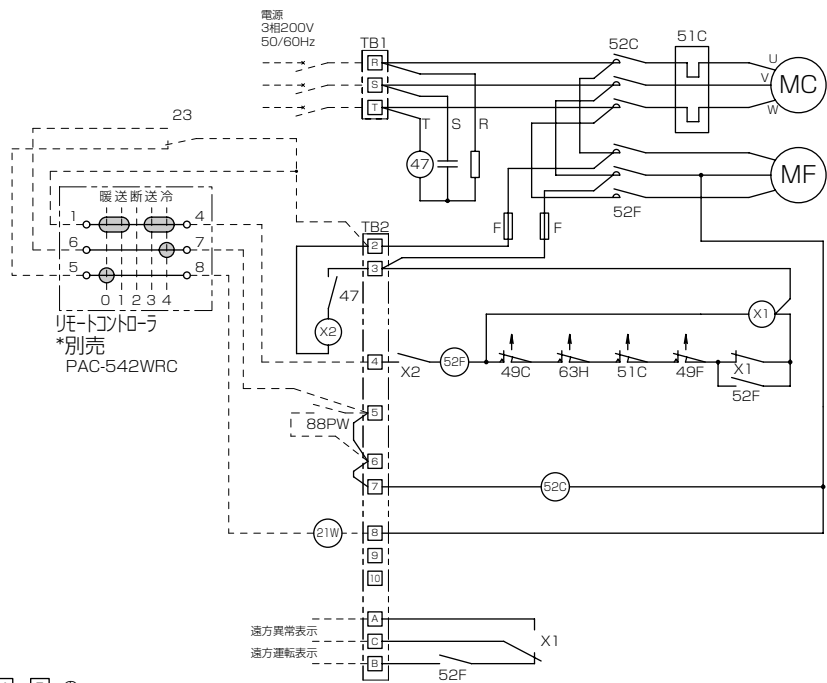


- 注1. RS、及び、M-NET接続しない時は、[2]-[4]、[4]-[5]の間に渡り線を取付けてください。
 2. 88PWを取付ける時は、[5]-[6]の渡り線を外してください。
 3. -----破線は現地配線を示します。

MB-P100WT,170WT 電気回路図

記号	名称
MC	圧縮機用電動機
MF	送風機用電動機
52C	電磁接触器<圧縮機>
52F	電磁接触器<送風機>
51C	熱動過電流継電器<圧縮機>
49C	熱動温度開閉器<圧縮機>
49F	熱動温度開閉器<送風機>
63H	圧力開閉器<高圧>
X1	補助継電器
X2	補助継電器
TB1,2	端子台
47	逆相防止器
F	ヒューズ<5A>
<RS>	ロータリスイッチ
<<23>>	ルームサーモスタット
<<21W>>	電磁弁<暖房>
<<88PW>>	電磁接触器<ボ*ンインターロック>

記号欄の<<>>は現地手配部品、<>は別売部品



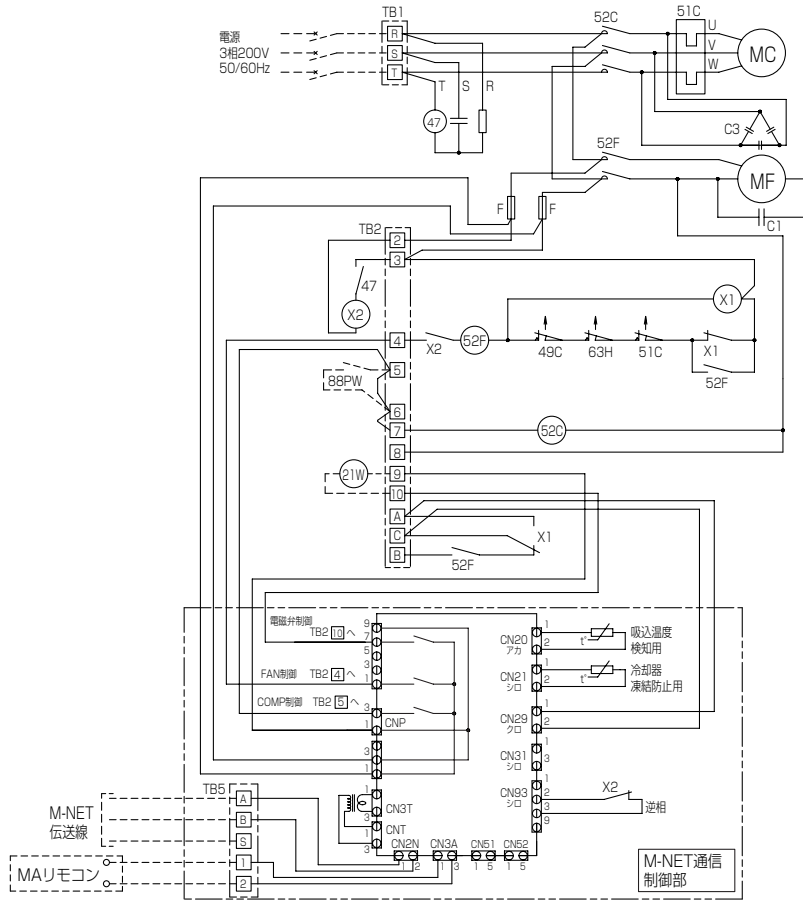
- 注1. RS、及び、M-NET接続しない時は、[2]-[4]、[4]-[5]の間に渡り線を取付けてください。
 2. 88PWを取付ける時は、[5]-[6]の渡り線を外してください。
 3. -----破線は現地配線を示します。

MB-P36MT,50MT 電気回路図

記号	名称
C1	コンデンサ<送風機運転>
C3	コンデンサ<進相>
F	ヒューズ<5A>
MC	圧縮機用電動機
MF	送風機用電動機
TB1, 2	端子台
TB5	伝送線用端子台
X1	補助継電器
X2	補助継電器
47	逆相防止器
49C	熱動温度閉閉器<圧縮機>
51C	熱動過電流継電器<圧縮機>
52C	電磁接触器<圧縮機>
52F	電磁接触器<送風機>
63H	圧力閉閉器<高圧>
<MAリモコン>	MAリモコン(PAR-30MA, 24MA)
<<21W>>	電磁弁<暖房>
<<88PW>>	電磁接触器<ボツアインターロック>

記号欄の<< >>は現地手配部品、< >は別売部品

- 注1. 88PWを取付ける時は、[5]-[6]の渡り線を外してください。
 2. ---- 破線は現地配線を示します。
 3. MT形の場合、MAリモコン(集中コントロー)にユニットの運転(異常)状態が表示されますが、別途「運転(異常)」の信号を取り出す場合は、遠方表示用アダプター(PAC-SA88HA)、またはM制御遠方表示キット(PAC-YU80HK)を利用し制御基板より取り出してください。
 詳細は、各々の据付工事説明書を参照ください。

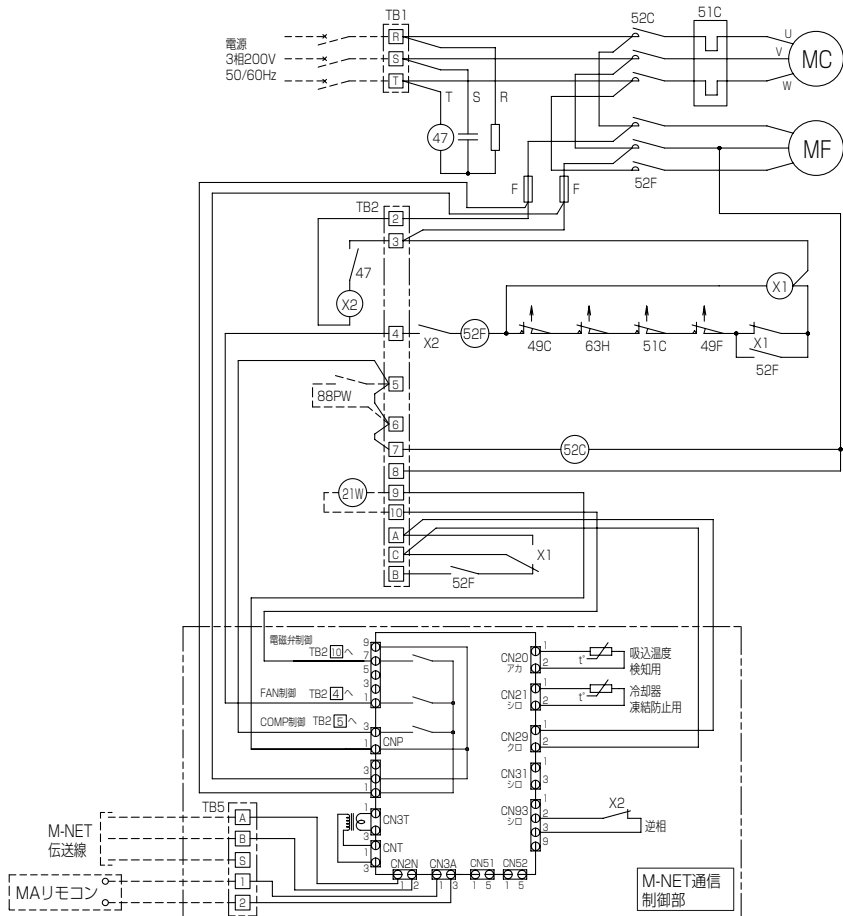


MB-P100MT,170MT 電気回路図

記号	名称
MC	圧縮機用電動機
MF	送風機用電動機
52C	電磁接触器<圧縮機>
52F	電磁接触器<送風機>
51C	熱動過電流継電器<圧縮機>
49C	熱動温度閉閉器<圧縮機>
49F	熱動温度閉閉器<送風機>
63H	圧力閉閉器<高圧>
X1	補助継電器
X2	補助継電器
TB1, 2	端子台
TB5	伝送線用端子台
47	逆相防止器
F	ヒューズ<5A>
<MAリモコン>	MAリモコン(PAR-30MA, 24MA)
<<21W>>	電磁弁<暖房>
<<88PW>>	電磁接触器<ボツアインターロック>

記号欄の<< >>は現地手配部品、< >は別売部品

- 注1. 88PWを取付ける時は、[5]-[6]の渡り線を外してください。
 2. ---- 破線は現地配線を示します。
 3. MT形の場合、MAリモコン(集中コントロー)にユニットの運転(異常)状態が表示されますが、別途「運転(異常)」の信号を取り出す場合は、遠方表示用アダプター(PAC-SA88HA)、またはM制御遠方表示キット(PAC-YU80HK)を利用し制御基板より取り出してください。
 詳細は、各々の据付工事説明書を参照ください。



9. 異常コード／スイッチ設定

◆異常コード (MB-P36,P50,P100,P170MT)

1000：異常一括

(熱動温度開閉器<圧縮機 49C>・熱動過電流継電器<圧縮機 51C>・圧力開閉器<高圧 63H>・
熱動温度開閉器<送風機 49F> (MB-P100/170MTのみ))

4103：電気系 逆相異常

5102：温度センサ故障 (冷媒配管温度センサ)

5101：温度センサ故障 (吸込み温度センサ)

1503：冷媒系 凍結保護

◆スイッチ設定 (MB-P36,P50,P100,P170MT)

①温水ヒータ

温水ヒータ対応時は、SW4-1をONにセットしてください。

スイッチの設定を変更しないと、MAリモコンで暖房モードが選択できません。

②室温検知

初期設定は、リモコン内蔵温度センサを利用する設定になっています。

ユニット本体の温度センサを利用の際は、SW1-1をOFFにセットしてください。

※ユニット本体の温度センサは吸込口側にセットされております。

ユニット本体の温度センサ利用時は、ダクト接続等により、本体の吸込口部の温度と室内温度が同等となる条件においてご使用ください。

スイッチ初期設定値

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
SW1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0

	1	2	3	4	5	6
SW2	0	0	0	0	0	0

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
SW3	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0

	1	2	3	4	5
SW4	0	1	0	0	1

	1
SW5	0

	1	2	3	4
SW7	0	0	0	0

	1	2	3
SW8	1	0	0

SW11	0
------	---

SW12	0
------	---

SW14	0
------	---

お客様への説明

- 取扱説明書の手順で正しくわかりやすく説明してください。
- この据付説明書は据付後お客様にお渡しください。

三菱電機冷熱応用システム株式会社

〒640-8686 和歌山市手平6丁目5番66号
(三菱電機(株)冷熱システム製作所内)
TEL 073-422-8333
FAX 073-436-6540